

ほぼ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどつした事でしょう」)

N. Jansoshikan

発行 有限会社ナップ  
編集責任 中田 等

発行日 令和二年十一月

問合せ先 〇九八五五一七四〇九

チヨースンの「よくめる話」〜前回の沼のつつき〜

前回の話では、人それぞれ何かにハマるものがあり、最近では「沼」と表現して若干自虐的な意味合いで用いている様で、私はイヤホンの沼にハマってます！という話でした。そして、今回はそのつづきでヘッドホンの似たような話題となります。

先日、中古で絶版のヘッドホンを手に入れました。それは珍しくも国内音響機器メーカー、イヤホン専門店、レコーディングスタジオがタッグを組んで、イヤパッド(耳が当たる場所)のメーカーまで加わって製造・販売していたものでした。

よく耳にする大手や海外メーカーにメーカー独自の企画では、デザイナーとのコラボレーションや、アーティストの監修した限定モデルなどが多いです。

今回はまさにそれに対抗するように、メーカー、販売店、プロスタジオの企業同士がチームとなって造り上げたものでした。個人的には商品の品質以上に、そのプロジェクトX的な要素に魅かれています。ころもありませう。

食品ではPBやOEM、ファッションでは別注といった表現で定番化しているスタイルでもありますが、「工業製品・一般品はあまりそうといった取組をオーディオでは聞いたことがなく、魅力を感じて購入に至りました。」

入手後、ノーマルの状態で聴いてみたのですが、正直、前回登場したイヤホンほどの感動はありませんでしたが、「カスタマイズ性」を残してくれており、ケーブル(音源と繋ぐ線)を変えてイヤパッド(耳と当たるパーツ)を変えて自分好みに落ち着いております。

結果的に、本体の価格よりもカスタムパーツの合計価格の方が上回っておりますが・・・なお、このプロジェクト自体は七年前の話ですが、今でも画期的に思える取組がありました。それは、一般参加型のイベントで、実際にそのヘッドホンを組み立てて、チューニングする内容を定期的に開催していたことです。

現在は別のメーカーさんが同じような取組をされていま



すが、音について学び、自分が心地よい音をメーカー指導の中で一緒に組み立てるという内容です。  
ジャンルとしてはオーディオファン向けですが、これまでになかったご縁・ファンを増やす、大事にする積み上げの大切さを感じた取組です。SNSの表現でいうと「フォロワー」ですね。  
弊社でもインスタグラムがスタートしたところ。「映えるもの」もドンドン作っていかねば！  
(帖)

ミーちゃん

今から6、7年前に会社の裏に迷い込んだきた野良の子猫。それまでも何度か迷いネコには遭遇したけれど、3日したらいなくなっていたのにミーちゃんはナップが気に入ったのか毎朝ちょこんと座ってた。

写真入りのチラシを作り、あちこち話をして飼い主を探したけど結局見つからず、保健所に届けるのも忍びなくナップの会社猫として飼うことになりました。名前は何となく「ミーちゃん」。

まずは皆から寄付を募り、避妊手術と3種混合注射。

夕方「ミーちゃんまた明日ね」と帰るとセコムから連絡が・・・センサーが反応してしまったらしい(笑)

それからは毎日「出勤」。

今はほぼ出勤することなく家で穏やかにのびのびと過ごす日々だったのに、まさかの病気がCT、レントゲン、バリウム、人間並みの検査の結果、「癌」。

先生からの怒涛のような説明にオタオタしているうちにステロイド投与。

さて、副作用の激しい抗がん剤をどうしたものか、吐き気、倦怠感、食欲不振ときて、人間と違うのは毛が抜けないことだけらしい・・・。

今は元気もあるし、食欲もま

あまああるし無理して抗がん剤？  
たかが猫、されど猫、ミーちゃん

んは家族、中田家の次女、ナップのアイドル。  
母としてはこのまま穏やかに過ごして欲しいと願うけれど「最善の治療を受けさせよう」と思う家族もいて、何が最良なのかはわからないまま過ぎて行く毎日。

病院嫌いのミーちゃんは病院に行く度激しく抵抗して鳴き過ぎて声が枯れる。  
大好きな家のソファの上のクッションに寝そべって過ごす。そうしよう

心は揺れて気持ちは日々変わる。ミーちゃんに問いかけてもちっちゃな声で「ミャー」

一回り小さくなり軽くなったミーちゃんを抱っこしながら、ため息の母です。  
(直)



ランチ 野郎 見参!

アミュプラザみやぎがグラインドオープンするにあたり、先行して「ひむかきらめき市場」がオープンしたので行って見ました。

お目当ては、南九州初出店の牛たん専門店「博多たんや」です。

以前の宮崎駅と比べると明るい雰囲気になっていてアミュプラザがグラインドオープンすると、駅前が賑やかになって人の流れが明らかに変わるだろうと思います。

ご飯のお替りが出来るという事なので、

1杯目は、トロロをにかけて、牛たんをご飯に巻いてパクリ!

2杯目は、タマゴをかけて、牛たんを巻いてパクリ!!!

3杯目は、少しずつ残していた、トロロとタマゴを一緒に混ぜてパクリ!!!

とても美味しかったです。(大)



### 「七つの会議」

半沢直樹、今回もおもしろかったですね。

毎週日曜9時が待ち遠しかった。

顔芸対決、最高でした！w 『おしまいでath』ってからは、いつとき半沢口スってやつに陥りましたね。

そんな中、少しでもロス解消にと観賞した映画が、『七つの会議』です。

映画館で予告を見ていたこともあり気になってたんです。

原作は池井戸潤さん、監督も「陸王」「下町ロケット」「半沢直樹」など、一連の池井戸ドラマの演出を手がけている福澤克雄さんです。

ストーリーは、中堅電機メーカーで起こった不祥事に巻き込まれていく社員たちを描いています。

時代背景は、昭和後半から平成初期くらいでしょうか。この映画、ストーリー云々よりも有無を言わず画面に引き込む俳優の演技力が素晴らしい。

2時間映画なので、話に荒を感じますが演技の迫力でカバーしているように感じました。



した。半沢直樹にはドラマの緊張感を感じた。池井戸さん(上戸彩)が癒しを与えてくれたように、これまた素敵な女優さんが癒しをくれますよw 役者さんは見てのお楽しみ。池井戸ドラマが好きな方はニヤニヤすると思います。脇役ですら豪華ですよ！ TVドラマの池井戸作品もよいが、映画はまた格別。おすすめの本です！ (光)

### いんちきクワイマーが行く！ 「祖母山縦走路で食う飲む寝る②」編

稜線をひたすら歩きつづけて、ブナの林の広場へ。鹿よけネットの向こうからは、沢音が聞こえます。ここです。ブナ広場です。時計をみると午後三時。いまのところ誰もおりません。貸し切りです。

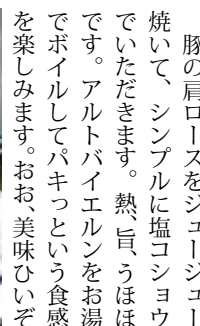


テントをさっさと広げ、めんどくさいのでペグは使いませんが地面に差し込む金具のことで、テントが風で飛んで行かないようにする大切なものです。だんだんズボラになる悪いクセです。



ミニテーブルを出し、椅子をセッティングして、さあいいい

よ、プシュー開始です。日帰りの場合はノンアルですが、今日は泊りなので。贅沢してエビスです。んん、ああ、ぐぐ、旨い！あー生きてるぜ俺。重い荷物を運んできたご褒美なのです。目の前には、祖母山系の雄大なパノラマ。



豚の肩ロースをジュージュー焼いて、シンプルに塩コショウでいただきます。熱旨うほほです。アルトバイエルンをお湯でボイルしてパキッという食感を楽しみます。おお、美味ひいぞ。

と、さつきから周りをブンブン周回していたアブの集団が、ターゲットを俺にしぼってきたのか、チク！ 痛て、チク！ 痛て、しつこいのです。アブつけてっこう痛い。カユイし、腫れるし、いいことなし。アルコールの入った身体が誘うのか掃ってもまた、やってきやがります。さつきまでのテンションは急降下。ああ、やだなあ。どうしようかなあ。真夏のテント泊は、虫との闘いであることをすっかり失念しておりました。虫よけを何ももってこなかったのです。空はまだ明るいとはい

え、時刻は五時。結局、撤収。あたふたと装備をザックに詰め、逃げるように下山。 四十分ほどで、登山口の駐車場へ。とはいえ、もう飲んじやってるし。なのでこのまま、この登山口にテントを設営。車の中に置いてあった、蚊取り線香で煙幕をたいて、効果の薄い虫よけ対策です。



今回は食う寝るキャンプと割り切ってるので、気をとりなおして、一人宴会の再開。プシュー！ゴク ジュー、パク！のループ。気付けば、陽はおちて、星が雲の切れ間からキラキラ。ウイスキーのお湯割りを片手に、ずつと星を見上げてました。 こういう時って、いろいろ哲学的になったり、考え事したりするのもかもしれないけど、本当に頭はカラッポで、ただ空を見ては飲んでました。 こういうのがデトックスというのかもしれない。そこかしこで、鹿の鳴き声。誰もいない。この日は山中で、誰ともすれ違わず、ほんとにこの山域にいるのは俺ひとりでした。 テントひとつあれば、どこでも自分の庭になりますね。さてさて、次はえびの高原あたりでテン泊しようかな、などと考えるつ、夜は更けていくのでした。(賢)

### 編集後記

ちょうど一年前に「んだもしたん」の編集を初めて担当させて頂きました。 私は、毎年この時期になると大分県玖珠郡九重町の牧ノ戸峠というところに紅葉を見に行きます。 今年は最近までコロナウイルスの影響もあって県外に行くことに大変気を遣う状態でしたが、寄り道する場所を極力限定して、密を避けるように行きました。 途中で地産地消を謳っている農家レストランで食事をしましたが、ここでもコロナの影響で人数制限をしていて、外で一時間くらい待ちました。 行った日の一週間くらい前が見頃だったそうですが、それでも十分楽しむ事が出来ました。 これから徐々に寒くなってきますので、体調に気を付けましょう！ (大)

